

解決日たる四月三十日は在東京地方支部全組合員を動員して解決に至る。解決、五月一日。日數、三二日。

結果一、高野、森木、齊藤三君は七月一日付を以つて簡易

保險局に從前通りの日給にて、富田君は七月八日中野郵

便局に日給壹圓四拾錢（前壹圓貳拾七錢）にて採儲とな

つた。

尚四月一日より採儲に至る迄の三ヶ月間の生活保證は次の如き特別手當に依つてなされたのである。

高野君（日給六ヶ月十二日分）富田君（日給六ヶ月十三日分八十九錢）森木君（日給三ヶ月十一日分）齊藤君（

日給四ヶ月二十一日分）以上何れも共濟組合與金を含

ます。

財金局開闢委員會委員長赤松克磨、副委員長萬清、

委員高地俱喜、戸島豊治、秋葉榮作、宮尾真一、梶原撲生、

牧山政弘、齊藤芳郎、川田浩山西泰之、高野孝雄、地久

利義彦、春日井秀雄、固山千之助、石原紳策、三浦竹松、

菊地喜一、森本耕、福壽清一、金子兵、浦山隆行。

財金局開闢委員會日誌

三月三十日、月、辭職願要、拒絶

四月一日、火、「局免」となる

四月一日、水、小笠原良と交渉

同廿五日、土、局長と交渉實行

同廿六日、日、第五回對策委員會

同廿七日、月、局長と交渉實行、第六回對策委員會

同廿八日、火、支部不當解雇反對開爭委員長會議、指令四號發行

頭、第七回對策委員會

同廿九日、水、第八回對策委員會

同三十日、木、午後二時、財金局長と最後的交渉（決裂）午後六時半、局側、園田、遠藤、委員、赤松、當、高地午後より

東京地半、同側、園田、遠藤、委員、赤松、當、高地午後より

方全組合員を本部に召集、午後六時開会、人員、七二三名、午後六時半、對策委員會、午後八時、決裂經過報告、午後十時、參集人

員一一七六、午後十時半、交渉委員大臣私邸に出發、委員赤松、

松岡、當、齊藤、戸島、牧山、津田、宮尾、午後十時四十分より

一日午前〇時十分迄大臣と會見

五月一日、金、午前〇時三十分より次官と接衝、委員、赤松、松

岡、齊藤、當、午前四時二十分解決案成立、午前五時、參集人員

調査、一、五七一、午前五時十分交渉經過、解決案報告、滿場一

致承認、午前五時五十分散會

同五日、火、對策委員會解體、批判及調査、殘務事項執行委員會

同一日、火、對策委員會解體、批判及調査、殘務事項執行委員會

以上

財金局開闢委員會計報告

收入總額金貳百拾四圓五拾八錢也全額本部基金ヨリ

同二日、木、同交渉實行、理由を發表、反駁執行委員會開催

同六日、月、第三回交渉、調查の結果を擧げて反駁し、再調査を

要求す。執行委員會開催

同七日、火、財金局支部臨時總會

同八日、水、第四回交渉、繼續

同十三日、月、第五回交渉、繼續

同十四日、火、第六回交渉、繼續

同十五日、水、第七回交渉、繼續

同十六日、木、執行委員會開催、反對開爭方針決定

同十七日、金、第八回交渉、決裂、繼續せる發向の交渉も小松課

長に何等誠意なく決裂す。執行委員會開催

同十八日、火、財金局支部不當解雇報告書費表

同十九日、日、第四回評議委員會開催、財金局問題對策委員會設置

同二十日、月、第二回對策委員會問題に對する具體の方針決定

部署の決定

同廿一日、火、各支部に指令一、二、三を發す

同廿二日、水、園田局長代理と交渉（不在の爲め）佐々木義洋と代

理す。第二回對策委員會、財金局支部員會合活動情報一號發行

同廿三日、木、本省に局長訪問不在、二十四日の會見を約す。第三回對策委員會

同廿四日、火、財金局長と交渉、明日に續行、財金局對策委員會設置

支出總額金貳百拾四圓五拾八錢也

内課

交通費

通信費

文具費

人件費

賄費

數物

電燈器具

謝禮

會場費

諸雜費

六、五、五八四
二、八五

二、四二

二八、六七

一〇、一

五二、八六

三、一〇

三、七

八、八

一、一

一、六、七

一、六、六

一、六、五

一、六、四

一、六、三

一、六、二

一、六、一

一、六、〇

一、五、九

一、五、八

一、五、七

一、五、六

一、五、五

一、五、四

一、五、三

一、五、二

一、五、一

一、五、〇

二、東工交委會總運動反對問題

職場、東京遞信局工務課屋内班。原因、所屬幹。發生、六月

六日。解決、六月十三日。懲罰、交渉三回。結果、一名取消

一名承認。交渉委員、當、高地。

四、其の他、牛込支部臨時者強制辭職反對（交渉一回貫徹）